



2020年度(20期生)ボランティア育成講座説明会
「コロナウィルス感染拡大防止対策を実施して開催」

◇ なごやか農楽会からのお知らせ

- ～ 書面表決による総会開催のご案内 ～
- ～ 農楽会会費の振込につきまして ～
- ～ 参加メンバー募集のお知らせ ～

◇ 援農作業予定 (6～8月)

◇ 援農作業実績 (2～4月)

◇ 農家さん紹介/あいちの伝統野菜など

なごやか農楽会からのお知らせ

なごやか農楽会令和2年度(第19期)総会の開催
(書面表決のお願い) について

令和2年4月6日付で令和2年度(第19期)総会を6月に農業センターで開催する旨お知らせしたところですが、政府・愛知県の緊急事態宣言が継続されているため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、評議会にて協議し、令和2年度(第19期)総会は書面表決とさせていただきます。

5月16日付でご案内文、「定期総会資料一式」とともに書面表決書をお送りいたしました。書面表決書にご署名及び各議案への賛否をご記入いただき、5月31日(発信日有効)必着で、メール・FAX・郵送にてご提出ください。詳細は、5月16日付配布資料をご覧ください。

書面表決書の提出は終わっていますか?

5月31日締切です

なごやか農楽会だよりは、名古屋市農業センターのご協力により発行しております。

なごやか農楽会からのお知らせ

書面表決書提出先 川合 雅彦
(なごやか農楽会事務局)

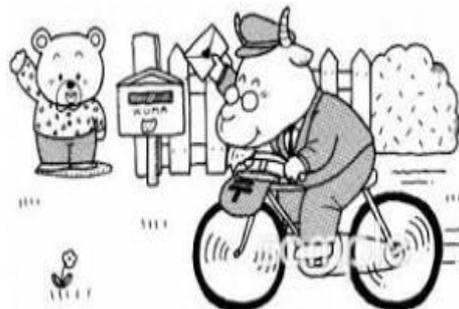
郵送住所 〒465-0066
名東区梅森坂西1丁目801-21

FAX (兼電話) 052-848-3077

メールアドレス m-k@mwd.biglobe.ne.jp

書面表決書

提出してね!



会費の振込につきまして(重要)

会費(1,000円)は例年ですと、農業センターでの総会の際に徴収させて頂いておりますが、今年度は、書面表決となったことから、全ての会員に振込み(ゆうちょ銀行(振替))をお願いいたします。ゆうちょダイレクト(インターネットバンキング)・ゆうちょ銀行口座からのATMでの振替が振込費用が安くなります。ゆうちょ銀行口座から振替も利用できます。お手数をおかけいたします。

なるべく早くお願いできたらと思います。

なお、ゆうちょ銀行の自分の口座以外からの振替の場合振込人名かわかるようにご依頼人名欄になごやか農楽会会員のお名前を忘れずにご記入下さい。

振込(振替)先等は次のとおりです。

振込先: ゆうちょ銀行(記号12100)記号・番号の場合

口座名: なごやか農楽会

種類: 普通預金口座(番号68446931)

(他銀行からは、店番218—普通預金6844693)

ご自分のお名前も忘れずに

参加メンバー募集のお知らせ

来年度(2021)は農楽会発足20年を迎えます。

20年の活動を振り返るとともに農楽会がこれからどんな活動を行うか、農家さんはどんな活動を農楽会に期待されるかを語り合う等色々な行事を開催する予定です。色々な行事の準備・実行に参加して頂くメンバーを募集します。20周年史編集、トークイベント・記念パーティ企画等の活動です。やってみたい方大歓迎。

総務系ビジネスパーソンの方、お力をお借し下さい。

また、魅力的なHPとして運営していくためのPJを立ち上げます。PJに参加して頂くメンバーも募集します。興味のある方は、ぜひご参加下さい。

HPをお持ちの方、IT系企業にお勤めの方大歓迎。

詳しくは、5月16日付配布資料をご覧ください。

上記事務局にお気軽にお問合せ下さい。

7月15日募集締切です。

評議会報告

報告・審議・検討事項の概要

2月度会議(2月1日開催)

(1) 2月1日育成講座修了式。会長、副会長、事務局長、4支部長出席。修了生は31名の予定

(2) 港・中川支部の援農参加を中川区の近くにお住まいの他の支部会員に依頼の件メール等で21名に依頼した。現時点で6名が依頼の連絡を貰って良いとの返事有。

(3) 18期研修会は、20名参加、来年度の研修は、中央卸売市場 地下鉄日比野駅下車としたい。平日実施となる。時期は、9月実施としたい。開始は、午後1時半～。

(4) 20周年迄の予定及び記念行事実行委員会メンバー募集。記念行事での各委員会の役割、すべき事項及び実行委員会メンバー等について検討。2020年度秋にキックオフを行い、以降委員会毎の活動を2021年10月予定の記念行事迄行うこととした。委員会メンバーが不足する場合は、2021年度総会で追加募集を行う予定。

3月度会議(3月14日開催)

(1) 支部相互支援については、7名の方港・中川支部での新規援農依頼農家への援農に参加

(2) 研修について 来年度の研修は、9月24日(木)又は29日(火)で調整する。

(3) 決算 18期決算報告(各支部決算報告、事務局決算報告)を行った。

4月度会議(4月4日開催)

(1) 令和元年18期決算報告について 谷本会計監査が監査を行い、適正な旨の報告あり。

(2) 令和2年度予算(案)について 会員数の増加に伴い、従来の予算配分が出来なくなるため、4支部経費と事務局経費に分け、事務局経費を固定ボランティア保険費は変動。年度収入から事務局経費を引き、4支部経費を算出。会員比率で各支部配分額を算出することとした。

(3) 令和2年度事業計画案について 20周年記念行事準備・実行委員会活動に注力する計画とする。畑 さつまいも栽培等の管理活動案で管理活動参加メンバーを実技研修の場を兼ね、19期生全員をメンバーとした。18期生以前の会員は、随時メンバーの登録が可能としている。

(本文は、なごやか農楽会ホームページの会員のページにあります)

援農作業予定 (6～8月)

てんぱく支部



ブドウの粒抜き

6月
タマネギの清掃選別。
ブドウの粒抜き。

7月
カボチャの収穫と清掃。
「市民ふれあい農園」(注)の手伝い
トウモロコシ・枝豆、カボチャ収穫

8月
カボチャの後始末
ニンジンの種まき



カボチャ清掃(みがき)作業風景

(注) ふれあい農園は、名古屋市内の農家が栽培した農産物(野菜・くだもの)を、畑で収穫する収穫体験農園です。

農楽会は体験農園の受付や収穫のお手伝い等を担当します。

収穫体験を通じて、市民の方が農業とふれあい、とれたての新鮮な味を楽しんでもらうことにより、都市農業への理解を深めてもらうことを目的としています。
(名古屋市緑政土木局)

名古屋市HPをご覧ください

みどり支部



6月
梅の収穫、ゴーヤのネット張り、畑草取りなど
ハウス内トマトの片づけ
ブドウの摘粒、袋掛け。柿の摘果。

7月 援農休み

8月 援農休み

熱中症にかからないように数年前から夏の援農は休みとなっています。

援農作業予定 (6～8月)

もりやま支部

6月
トマト・玉ねぎ等収穫、畑整理
カラス対策
梅収穫



トマトハウスでの作業風景

7月
草とり、畑整理
ぶどう蔓切り、枝切り
ブルーベリー収穫

8月
畑整理、玉ねぎ皮むき
ぶどう蔓切り、収穫
ブルーベリー収穫

港・中川支部

6月
箱作り、園内のトマト拾い
草取り、夏秋野菜の植え付け
野菜（玉ねぎ、ナス、ピーマン）収穫、
枝豆の袋詰め、脱穀、整理、選別



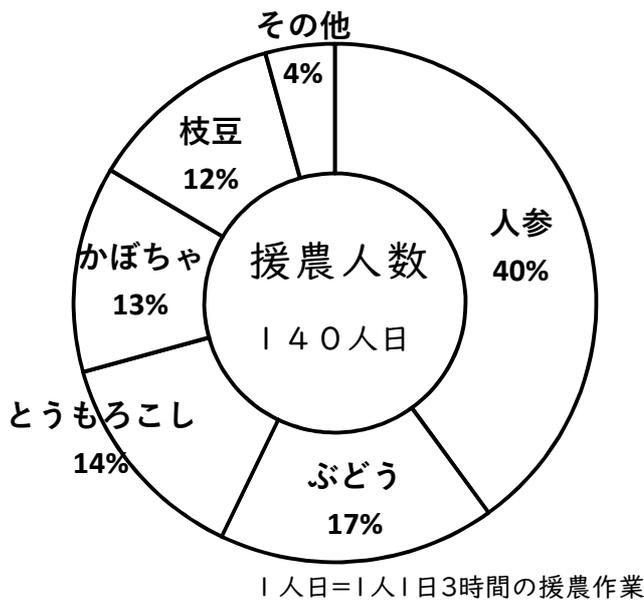
トマトハウスでの出荷用箱作り

7月
ほうれん草、小松菜 播種
箱作り、糸貫作業、草取り
スイカ・カボチャ・ナスの収穫、
野菜販売、とうもろこし・枝豆試食準備、
ジャガイモ掘り

8月
畝づくり、人参種まき、草取り

援農作業実績 (2～4月)

てんぱく支部



三か月間（2月～4月）の援農実績は、140人日。

三か月間の援農先は、5農家。

援農作業は、人参の収穫（注）、選別、かぼちゃ、とうもろこし、枝豆植付け、ぶどうビニール張り、花切り等です。

昨年度（2月～4月）の援農実績 138人日

（参考）年度実績比較

年度援農実績（19年4月～20年3月）594人日

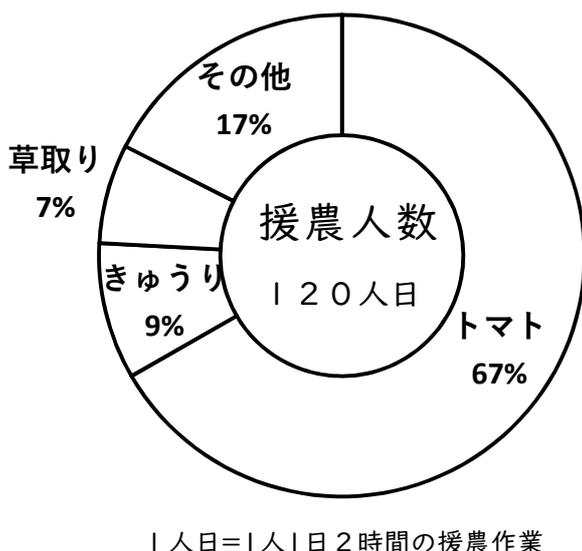
年度援農実績（18年4月～19年3月）808人日

（注）人参の援農作業は、収穫、選別（1、2月）と蒔き（8月）があります。
蒔きは経験と技術が必要です。
農家さんに聞いてみましょう。
援農作業の邪魔にならないように気をつけて。



人参の収穫風景

みどり支部



三か月間（2月～4月）の援農実績は、131人日。

三か月間の援農先農家は、3農家。

援農作業は、トマトの作業は、ミニトマト・中玉とまと収穫、トマトトーン散布、脇芽取り・誘引、下葉とりなどです。

畑の管理（堆肥・肥料散布、耕作）畝立て、マルチ張り）やきゅうりの収穫です。

昨年度（2月～4月）の援農実績 131人日

（参考）年度実績比較

年度援農実績（19年4月～20年3月）594人日

年度援農実績（18年4月～19年3月）808人日

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に撮って下さい。支部長と相談の上。

（注）トマトの援農作業は、トーン散布、定植、脇芽とり、誘引、収穫（中玉・ミニトマト）、下場とり等、年間を通して作業があります。
夏場は、お休みです。

援農作業実績 (2～4月)

もりやま支部

三か月間（2月～4月）の援農実績は、74人日。
 三か月間の援農先農家は、3農家。
 援農作業は、ブルーベリーの剪定、鉢植替え（注）
 ハウスでのトマトの収穫、脇芽とり、ぶどうの皮むきなどです。

昨年度（2月～4月）の援農実績 91人日

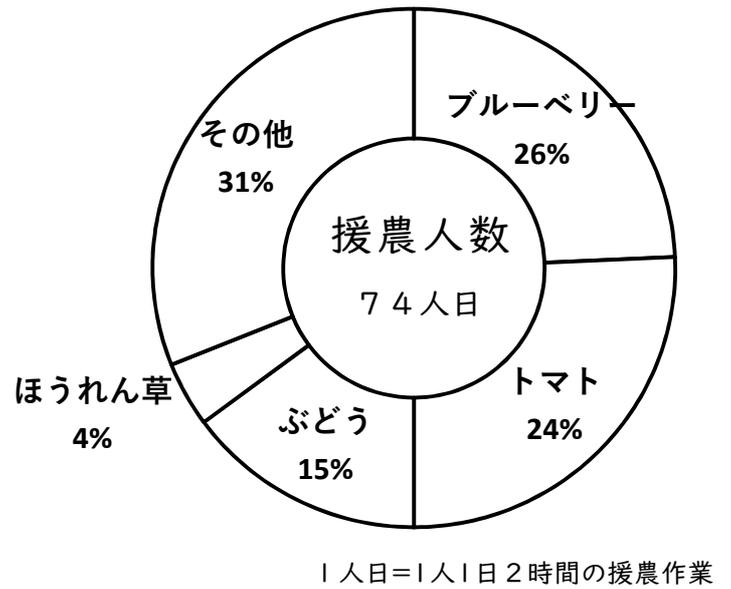
（参考）年度実績比較

年度援農実績（19年4月～20年3月）435人日
 年度援農実績（18年4月～19年3月）297人日

（注）ブルーベリーの援農作業は、剪定、ネット張り、収穫、堆肥・もみがら運び、蔓切り等、年間を通して作業があります。



ブルーベリーの援農風景



港・中川支部

三か月間（2月～4月）の援農実績は、150人日。
 三か月間の援農先農家は、4農家。
 援農作業は、ジャガイモ・キュウリ・ナス・枝豆の
 植え付け(各5)、大根の収穫などです。

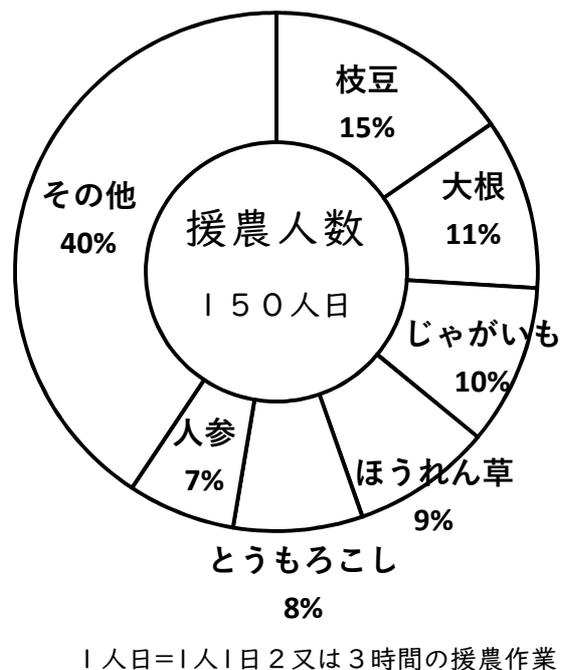
昨年度（2月～4月）の援農実績 160人日

（参考）年度実績比較

年度援農実績（19年4月～20年3月）557人日
 年度援農実績（18年4月～19年3月）678人日



ホウレンソウ苗の定植



農家さん紹介

今回は、服部金秀さん訪問しました。服部さんはハウス栽培のトマト・きゅうりを主体に露地栽培でミカン、小梅、大根、なす、モロヘイヤ、からし菜、ピーマン、ゴーヤ、ツツムラサキ、オクラ等多種類の野菜を栽培されています。田んぼでの稲作も行っています。



服部金秀さん トマトハウスにて

服部金秀さんにお話をうかがいました。

緑区の援農先。服部金秀さんの農地は地下鉄徳重駅から東へ約2.5kmの白土近くにあり、生産緑地指定を受けて20年位になります。農家の次男として生まれ、農業の基本は安城農林学校（全寮制）で学びました。

ハウス栽培が（トマト・きゅうり）9割、1割が露地栽培で四季折々の野菜を作っています。

ハウスに伺った11月末は、トマト（ファーストトマト、アイコ）の葉が青々と繁り、黄色の花を沢山付けていました。その中で、ミニトマトのアイコが真っ赤に色づいているのを見つけた時は、“赤いルビー”と思ったほど美味しそうに輝いて見えました。

トマトの水耕栽培は、9月末種まき～10月定植～誘引～芽かき～収穫～6月迄がサイクル。ハウス栽培は露地と違って雨で小さい虫等が流されないのので、その管理が必要になります。3～4月が収穫のピークで、忙しいと共に農業の収穫の喜びを感じる時だそうです。

農楽会とのきっかけは、市役所から依頼があり2期生の方から受け入れが始まりました。援農作業は9時から11時迄。ハウス内は高温多湿なので夏は厳しい作業になります。

農楽会の人達には「スペシャリストになって欲しい」とエールを送っていただきました。

尚、服部さんのトマトは平和堂で購入できるそうです。



ミニトマト



援農風景



トマトハウス

Q & A (教えて、農家さん)

Q

野菜や果物について、農家さんに聞いてみたい、教えてほしいと思ったことはありませんか。

Q & A (教えて、農家さん)のコーナーを新しく作ります。

聞いてみたい、教えてほしいと思うことを募集します。

聞いてみたい、教えてほしいと思うことがありましたら、以下によりご連絡下さい。

A



メルアドをお持ちの会員

農楽会事務局 川合まで m-k@mwd.biglobe.ne.jp

様式は問いません。メールにて随時、お送り下さい。

メルアドをお持ちでない会員

評議会メンバーに会った際、口頭又はメモでお伝え下さい。

いつでも、構いません。

評議会メンバーなら誰でも構いません。

いずれの場合も、支部、期、お名前をお忘れなく。

(コーナー掲載時に匿名を希望される場合、その旨も、お忘れなく)

あいちの伝統野菜

もうじき6月。支部によっては玉葱の収穫依頼が多くなります。そこで今月号は、玉葱を紹介します。オニオンはギリシャ語ユニスから転訛し、分球しない特徴から生まれた名称で、イラン周辺の山岳地帯が原産です。古くから食用とされ、古代エジプトでピラミッドを築く労働者に玉葱とニンニクを食べさせたとの話も残っています。欧米は16~17世紀、更に遅れて中国は19世紀に欧州から導入され、その後急速に普及します。日本は、江戸時代に南蛮船が伝えるも普及せず、明治期にまず、欧州の種子を導入します。明治4年、北海道開拓使が米国から種子（イエローグローブダンバース）を取り寄せ、明治15年頃に札幌で栽培・販売に成功しました。札幌黄玉葱の誕生です。北海道は戦前、欧米同様に種子を直接播いていました。苗を育て植え付ける方法に変えたのは、戦後のことです。種子の発芽が悪かったり、蒔く時期の問題もあって栽培が成功しない地域が多いなか、大阪府は明治19年、イエローグローブダンバースを有望種として栽培を進めました。明治25年コレラが府下で流行り、その時に薬効があるといわれて玉葱の消費がふえ、泉州黄と貝塚早生が誕生しました。大阪近県にひろがり、採種は和歌山県下で行うようになっていきました。現在淡路島が玉葱の一大産地になっています。



あいちの伝統野菜

次号はなすを紹介します



愛知白早生

形は平型、扁平で尻がくぼんでいる。色合いは白色。食味は柔らかく甘みが強い。サラダに向いている。

知多3号

形は甲高の真円球で、大玉500g程度。皮は黄色みが強い。肉質は柔らかく、甘みが強い。



養父（知多）早生

皮は黄色、形は平型、扁平で尻がくぼんでいる。柔らかく甘みが強い。サラダに向いている。



玉葱は、温度15度以上、日長（昼間の長さ）がある程度の長さにならないと球が太りません。秋蒔きの泉州黄は、13時間以上の日長が必要で、翌年初夏に収穫します。春蒔きの札幌黄は、14時間半程の日長が必要で、夏に球が肥大化し秋に収穫します。

種子の発芽、播く時期など玉葱の栽培に、気温と日長が大きく影響します。愛知県は明治中期に大阪府と同系統の黄色種を導入した他、赤色種、白色種の試作が行われました。赤色種は嗜好に適さず、以後栽培がなくなります。白色種は、早生早出しとしてかなり普及しました(注)。

知多郡は早出しに特徴があり、黄色種も早生系が分化し、貝塚早生・知多黄早生などが普及し、中生・晩生種も栽培されて出荷の調整をとるようになります。春最初に出荷される愛知白早生は、日長が11.5時間以上になると球が太るので、知多半島では春の彼岸の頃に収穫できるようになります。今、私達が玉葱を手にとることができるのは、品種改良や栽培方法の工夫等で、比較的安く周年市場に出荷できるようにした基礎研修や栽培農家の努力があったことを見逃してはいけないと思います。

愛知白早生、知多3号、養父（知多）早生の3品種が愛知の伝統野菜に指定されています。

(注) 大正時代、知多郡横須賀に栽培された白早生(後の愛知白早生)は、県農事試験場で改良された仏10号(ブラントン・アチーブ・ドラ・ライス)の系統が伝わったとも言われていますが、定かではないようです。

参考文献

日本のふるさと野菜（一般社団法人日本種苗協会発行）

日本の野菜文化史事典（青葉高著 八坂書房2013）

愛知県園芸発達史（愛知県園芸発達史編さん会）

あいち在来種保存会・野菜ソムリエの「あいちの伝統野菜」（ブログ）

愛知県HP愛・地産・アラカルト 農業水産局農政部園芸農産課

写真：あいち在来種保存会提供

編集後記

コロナウイルス感染症対策のため、本年度の総会は書面表決となりました。従来と異なり、表決書のメール・FAX・郵送の発送が必要です。お手数をおかけしますがよろしくお願ひします。愛知県は緊急事態措置が徐々に解除され、コロナウイルス感染症対策をしつつ通常の生活に戻りつつあります。農業は、3密を避けて作業することができる業種なので、コロナウイルス感染症対策をしつつ援農をお願ひします。これから暑くなりますので、熱中症対策もおこたりなく。今期は、農楽会発足20年の記念行事に向けて準備が目白押しです、皆様の協力をお願いします。

発行 **なごやか農楽会事務局**（水野・川合） 令和2年5月25日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。